



▶京都府綾部市

ふるさと納税で 水源の里をもっと元気に

綾部市では、過疎・高齢化が進み、冠婚葬祭、農業用水や道路の維持管理といった共同生活の維持が困難な状況に直面している集落を「水源の里」と位置付け、これらの集落の活性化を図るための活動に取り組んでいます。

さらなる集落の活性化のため、ふるさと納税を募集し、地元が中心となって開発した特産品のPRや生産拡大、新商品の開発に必要な備品の購入、販売拠点の整備費用に充当しました。

寄附者に対しては、これらの活動報告等をお届けするとともに、「水源の里」についての理解を深めていただき、継続的な支援に繋がるよう取り組んでいます。



古屋集落。「とちの実拾い」体験
都市部からの参加者も多い



老富集落。特産の「とち餅」
ふるさと納税によって購入した製造機械により生産

注力した点や
工夫した点

豊かな自然と地域資源を活かし、地域・行政・ボランティアが連携することで、小さな集落が大きな成果を上げることができました。

Check

取組の効果

ふるさと納税で得られた資金により、特産品の製造に必要な真空パック機、保管庫、乾燥機などの備品を購入し、生産量の増加だけでなく新商品の開発や販路拡大に生産者が積極的に取り組めるようになりました。

また、平成28年度は農業体験事業を実施し、寄附者を含めた延べ1,571人の参加者が地元住民と交流を深めました。今後、ふるさと納税をき

かけとしたさらなる交流人口の増加が図られるよう、交流拠点となる広場の整備等を行うこととしています。



瀬尾谷集落の特産「黒瓜の粕漬け」
約10ヶ月熟成させて商品化



市が年1回開催する空き屋見学ツアー

寄附者の声



・豊かな自然を守り、その自然を活かして発展してほしいと思います。

住民の声



・地域の皆と協力して取り組む特産品づくりは住民の元気の源です。